



# 新☆びゃくか (白花) たより

手打ちそばぐる〜び

## 白花

第25号 : 28. 10. 22

例会は代表・副代表及び久々におがGさんが出席。



一昨年開店したお蕎麦屋さんが忙しい最中に、前代表太郎さんと、風邪をひいているにもかかわらず前副代表 poupe さんに出席して頂き、引き締まった雰囲気スタートしました。

いつものように、先月例会から今日までの行事やボランティア活動の報告があり、今後の予定などについて連絡をしましたが、ここからは、私 tanbo が、認定審査会などの様子をレポートしてきましたので詳細をご紹介します。

まず、9月25日に新得町で行われた四段位認定審査会です。

我が白花からは TAKA さんが初挑戦しました。

が、さん、むっちゃん、私 tanbo の応援のほか、白花OBのT・勇さんも見えられており、大勢の声援の中で審査会に挑みます。

審査中のTAKAさんの様子ですが、水廻しもそつなくこなし、丸申し、肉分け、本申しも体重を



乗せて無難に仕上げ、決定的なミスもなく合格は間違いないと確信しました。しかし、なんと駒板を持参するのを忘れていました。凡ミスです。見ている限り技術的には何の問題もなかったので、これが致命傷となったのか、惜しくも合格とはなりません。残念な結果ではあったものの逆に得たモノもあります。

短期間で集中して練習した結果として、見た眼ではっきりとわかるのですが、羨ましいほど腕を上げたことです。是非、その成果を白花会員に伝授していただきたいと思います。

次に、10月1日に行われた西宮の沢児童会館での子どもを対象としたそば打ち教室、また10月8日に行われた富丘児童会館でのそば打ち教室の様子です。西宮の沢児童会館には、白花から8人が参加しました。

多数のメンバーが参加してくれたので、担当した業務には比較的余裕をもって臨むことができました。







足しげく通い、poupeさんは勿論のこと、G10さん、がさんらに指導を受け、審査会直前には制限時間内に打ち上げることができるようになり、これなら必ず合格出来ると思える程になりました。審査会当日は第1組目だったので、ぶっつけ本番の気持ちで臨み落ち着いていた様子でしたが、1回目加水時の水廻しに時間がかかったことを気にしすぎた様で、2回目に一気に加水したため、他の人より異常に早くまとめに入り、見ているほうがヒヤヒヤするほどでした。



ようか。

残念ながら画はありませんが、この時期はきのこが旬なのでとても美味しかったです。

例会後、午後6時から蕨谷亭において、全国女流名人位に輝いたむっちゃんと、MU-さんの初段位合格のお祝いを開催しました。これも画はありませんが、大変盛り上がりました。

普段からたゆまぬ努力をしているむっちゃんには敬服の至りで、一途に蕎麦道を求める姿勢には、みなさん見習う必要があるというべきでしょう。

次号は喜茂別町双葉地区における大収穫祭の様子をお届けするつもりですが、画があるのかなあ。

大変うれしいことですが、子どもたちの旺盛な食欲にはびっくりしました。中には4回もおかわりをする子どもがいたりして、「行列のできるそば打ち教室」で大盛況でした。

富丘児童会館は6名の参加でした。西宮の沢と同様に4組に分かれて指導しましたが、子どもたちみんな熱心に粉にさわって麺棒を転がし、興味深そうに体験していました。こちらも西宮の沢同様におかわりの続出です。

最後に、10月16日に江別市で行われた初段位認定審査会にMU-さんが挑戦しました。

挑戦しようと意を決してからpoupeさんの道場に



ずる玉に近かったかも知れませんが、麺体も破らず制限時間内に余裕を持って終わり、なんなく合格しました。次からは、早速二段位への練習が始まります。頑張ってお新会員の模範になっていただきたいと思います。

さて、ここからは例会の様子をお届けしますが、特筆すべき内容はなく、唯一、食事当番のおがGさんが、そば打ちをせずに昼食づくりに専念し、気合を入れて暖かい「きのこそば」を作ってくれたことぐらいでし

